

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	1	
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	2	適切であるが欠勤者が急遽出ると厳しいことがある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	6	2	まだ利用児数も少なく今後、参画させていく必要はある
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	4	2	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	1	研修に行けない 事業所内の研修は計画を立てて定期的におこなえている 行けても伝達研修ができない 重心時の研修は少ないが各自関心のある研修には行けている 外部研修へ積極的に参加させるべき
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	0	周知不足を感じる モニタリングの実施 行けても伝達研修ができない 職員が複数の利用児を担当スタッフとして振り分け情報収集、ニーズの分析を行い支援に取り込んでいる
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	0	スタッフ全員で取り組んでいる
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	5		レクリエーションについては作成し行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	5	0	同じレクリエーションでも変化を加えて行っている 常に内容を更新していくべき
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	1	時間や人数に応じて柔軟に対応できている 休日の開所を定期化することから始める 長期休暇の時の長時間利用の際には特別なプログラムを増やすべき
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	1	個別活動が少ない 個別活動をもっと体系的に行うべき
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	0	リハビリに関しては誰に支援につきどのような支援をすかだけであり指導員が担当児についてその日の支援については明確されていない その日のリーダーが主となりミーティングを行ってから送迎が開始できている
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	2	翌営業日に必ず行っている 前日の担当者が不在であったり、記録の読み上げになってしまいがち	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	5	0	翌営業日になっての記入も時折みられるが比較的当日中に記録をし、振り返りの際に活用できている 記録の内容から支援の課題を導き出せていない	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	4	0	定期的に行って行ける段取りはできている まだ利用者数も少ないがおこなえている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	6	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	5	1	
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	3	マニュアル有 見直しや修正をしていく必要がある かかりつけ医の連絡先は周知されている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	6	1	他のサービスとの連携があまり取れていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	4	卒業生がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	2	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	6	重心型のため医療的ケアがある中で今後の課題
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8		1	参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	4	1	送迎時だけでなく保護者同伴もありできている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	6	0	行っているが不安もある
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	3		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	4	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2	1	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	4		ブログの更新を毎日行う
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1	1	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	3	1	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	3	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	2	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	1	身体拘束の意識を深める必要がある
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	5	1	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	5	1	どんどんヒヤリハットを上げられる環境を作るべき